

第4回西東京市放課後子供教室あり方検討委員会 視察に関する質問事項一覧

	質問事項	メモ
①	いまの状況に至るまでにどのような困難があったか。 また、現状直面している困難などはあるか。	
②	学童クラブと放課後子供教室を同じ事業所に委託しているとのことであるが、どのようにすみ分け・運用をおこなっているのか。	
③	放課後子供教室の認知度を高めるために、どのような手段・方法をとっているのか。	
④	あそびバ（放課後子供教室事業）をなぜ教育部局ではなく市長部局にしたのか。	
⑤	原則3人となっているが、50人ほど参加があった場合、3人で見守りをできているか。	
⑥	特別支援学級の児童が参加する場合は4名体制であるとなっているが、特別支援学級からの参加は何人ぐらいいるのか。	
⑦	地域の方の関りはあるか、それとも完全委託なのか。 また、関りがある場合はどのような関り方をしているのか。	
⑧	各学校でどのくらいの広さ（校庭、体育館、空き教室等）を放課後子供教室のために確保しているのか。	
⑨	放課後子供教室に参加している児童の、学年による授業終了時間の差をどのように対処しているのか。	
⑩	放課後子供教室に参加中の児童がケガをした場合どのように対応しているか。	
⑪	調布市の児童館及び学童クラブの数を教えていただきたい。	
⑫	児童館の数はHPで11館と確認しましたが、児童館と放課後子ども教室の住みわけが進んでいる感じがあるのか、それとも両方に登録して日によってどちらにも参加している子がいるのかお伺いしたい。	
⑬	放課後子供教室が人気があるのはやはりランドセルを持ったまま参加できるという点であると考えられるか。このほか、満足度調査のようなものをおこなったことはあるか。	